



湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



人類に奉仕する ロータリー

第 2657回 例会
平成28年12月16日(金)
天候 晴れ
合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会長 望月 博文
幹事 室伏 学

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

読まれざるベストセラー、ロータリーの友を読まさせて頂きまして、少し気になる事が書かれていました、新入会員のあなたはロータリーとして若すぎるのではないかという記事があり、私も実はロータリーに入会する時少し同じよう事を考えていました。ロータリーとかロータリークラブと聞いてどの様な印象を持ったかと言うと、年配の方々の集まりと思いまだまだ自分には早いのかなと、このように思う方は多いのではないかと思います。ですが、実際に私も8年前に入会した時は、そのよう事はそこまであまり感じはしなかったのですが、今入会される新会員の方々はそのように感じている方は以外にいるのではないかと思います。日本のロータリークラブは平均年齢が高く、60歳を過ぎてから入会される方がたくさんいらっしゃいます。いくら年をとってから入会しても、年齢が高すぎるということはありません、あなたがロータリアンでなければ100歳の友人ができることはないかもしれませんが、いろいろな年齢の人たちと親しくつき合えること、それがロータリーの良さの一つなのです

幹事報告

ガバナーより

1. 社会・国際奉仕活動事例紹介セミナー開催のご案内
日時：1月28日(土) 15:00~17:30
場所：アイクロス湘南6階「E会議室」
対象者：会長エクスト・奉仕プロジェクト委員長・3年未満の新会員
回答期限：1月20日(金)
2. 第2回地区補助金説明会開催のご案内
日時：1月21日(土) 14:00~16:00
場所：第一相澤ビル8階「会議室」
申請を予定されていて、第1回説明会に参加していないというクラブは、必ずご登録ください。
回答期限：1月13日(金)
3. 財団100周年のロータリー国際大会：早期登録で割引料金をご利用ください。
登録料割引締切：12月18日(日)

小田原ロータリークラブより

1. エンドポリオナウ募金活動協力をお願い
日時：1月16日(水)午前11時~12時
場所：箱根湯本駅改札前付近
各クラブより7名の参加をお願いします。
尚湯本富士屋ホテル4名分の昼食代のご用意を予定していますが、予算の関係からそれ以上の昼食代につきましては各クラブでご対応をお願いいたします。

連絡事項

1. 24日10時頃からクリスマスケーキを配ります。
2. 1月の例会は、6日新年会(夜間例会・おんやど恵)、13日、27日通常例会です。20日は16日に第9グループIM合同例会開催の為休会となります。

出席報告	ゲスト 1名	ビジター 0名	会員24名
	欠席1(免除者0名)		前回の修正出席率91.30%
	出席率95.83%		前々回の修正出席率96.96%

事前メイクアップ 1名

ゲスト 真鶴町 町長 宇賀一章様

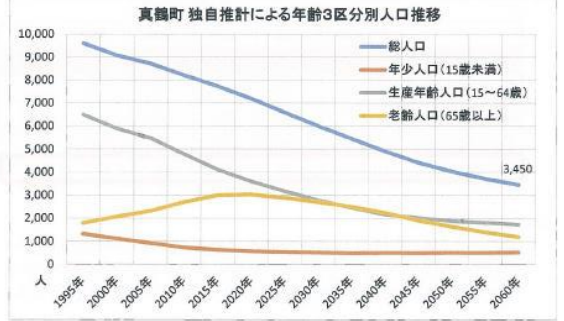
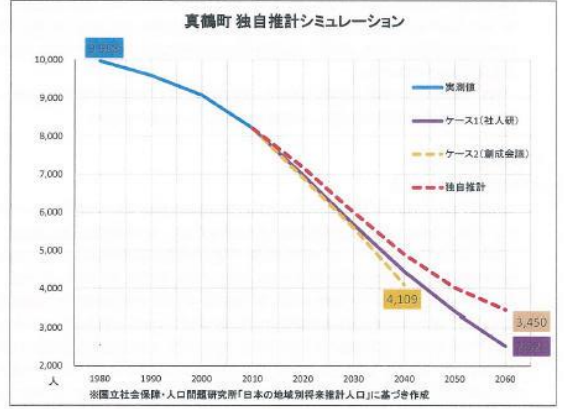


スマイルBOX

会員誕生日 山本明峰君 (12/30)
 結婚記念日 渡辺久恭君 (12/20)
 夫人誕生日 佐藤泰文君 (協様・12/27)
 西山敦君 12月15日、五所神社境内、歳の市で賑わいました。
 高杉尚男君 歳の市、五所神社役員としておめでとうございます。
 石倉幸久君 湯河原スイーツサミット試食会がテレビで放映されました。
 渡辺久恭君 先週、ガバナー補佐に卓話をたずけて頂きました。
 渡辺久恭君 ロータリーソングを失敗しました。
 12月24日にクリスマスケーキが配布されるので全員でスマイル。

す。2030年(平成42年)には0(均衡)に達し、2060年(平成72年)までそのまま推移すると仮定します。

2 推計結果



卓 話

真鶴町 町長 宇賀一章様



III 政策による効果を仮定した目標人口推計

「I. 人口の現状分析」から、真鶴町は、自然減(出生数<死亡数)による人口減と、社会減(転入数<転出数)による人口減により、2004年(H16)から2014年(H26)の間では年平均130人弱の減少傾向にあります。一方、「II. 将来の推計と分析」から、2060年(平成72年)の真鶴町の推計人口は、2,500人台と推計(社人研)されており、人口減少がもたらす様々な問題が懸念されています。

今後一層進むと思われる人口減少に対して、出生数の増による「自然減」の抑制と転入者の増による「社会増」の促進に取り組み、人口減少を抑制していく必要があります。

1 人口推計の仮定

(1) 合計特殊出生率の上昇

真鶴町では、2013年(平成25年)の合計特殊出生率は神奈川県下でも低いレベルの1.17を示しておりますが、今後の施策展開による上昇を見込み、以下の数値を仮定しました。国は、長期ビジョンにおいて、若い世代の結婚・子育ての希望が実現するならば、国の合計特殊出生率は1.8程度の水準まで向上するとしており、2020年(平成32年)に1.6程度、2030年(平成42年)に1.8程度、2040年(平成52年)に人口置換水準(人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと)2.07が達成されるケースを想定しています。また、神奈川県においても2050年(平成62年)に合計特殊出生率2.07の水準を目指すことから、真鶴町においても、今後、教育費のあり方やワークライフバランスなどの国策による対策と共に、真鶴町としてもあらゆる対策を実施し、2040年(平成52年)に合計特殊出生率1.70、2060年(平成72年)に人口置換水準の2.07を目指すものです。

	2010	2020	2030	2040	2050	2060
ケース1(社人研)	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17
ケース2(創成会議)	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17
国(長期ビジョン)	1.43	1.60	1.80	2.07	2.07	2.07
県(人口ビジョン)	1.31	1.42	1.70	1.97	2.07	2.07
独自推計	1.17	1.30	1.50	1.70	1.92	2.07



(2) 移動数の仮定

原則として、2005年(平成17年)~2010年(平成22年)の国勢調査(実情)に基づいて算出された純移動率が、2015年(平成27年)~2020年(平成32年)までに定率で0.5倍に縮小し、その後はその値を2035年(平成47年)~2040年(平成52年)まで一定とします。